

# 競技注意事項及び大会規定

1. 本大会は2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。

## 2. 招集について

(1) 招集所は100mスタート外側付近に設ける。

(2) 招集の時刻については、別記競技日程を参照のこと。

(3) 招集の手順

①トラック競技に出場する競技者は、招集完了時刻までに招集所でスタートリストに○をつける。その際、招集受付では、体調管理チェックシートの確認印・アスリートビブス(登録番号)を競技者係に提示すること。提示等が無い場合は出場できない。また、靴底の厚さの検査を実施するので競技で使用する靴を持参すること。800m、1500m、3000mの出場者は、腰ナンバーを受け取り、右側腰の後ろへ取り付ける。

②トラック競技の最終コールは、競技日程に記載されている時刻に各競技のスタート地点付近で行う。

③リレーに出場する競技者は、4人揃って、招集完了時刻までに招集所で競技者係の点呼を受ける。現地集合時刻に各コーナー集合していること。

④フィールド競技に出場する競技者は、招集所での招集受付は行わず競技開始時刻10分前に現地で点呼を受ける。その際、体調管理チェックシートの確認印・アスリートビブス(登録番号)を提示すること。提示等が無い場合は出場できない。

⑤フィールド競技は、競技開始時刻40分前より、現地に入り、練習可能とする。

⑥代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、1種目目の競技開始40分前までに、本人もしくは代理人が、あらかじめその旨をホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」(招集所にも用意する)に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。

⑦招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。

⑧やむえず出場種目を欠場する場合には、競技開始時刻40分前までに競技者係へ欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する。)

## 3. 競技場の入退場について

(1) 入場は、他の競技の支障がないように、各自で集合時刻までに現地へ入場する。

(2) 競技者は、競技役員の指示に従って退場する。

## 4. 競技について

(1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。

(2) トラック競技はタイムにより順位を決定する。

(3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。

(4) リレーのオーダー用紙の提出は、予選については7:30~8:50までに競技者係に提出し、決勝については招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意しておく)招集は、競技日程に記載されている時刻に従って招集所で行う。

(5) フィールド競技は3回の試技の後、記録の上位8名がさらに3回の試技を行い順位を決定する。計測ラインを次のように設定する。ただし、跳躍審判長・投てき審判長の判断で変更すること

もある。

	走幅跳	砲丸投
(男子)	4 m 6 0	6 m 5 0
(女子)	3 m 6 0	7 m 0 0

- (6) 走幅跳は、A・B 2つのピットを使用し、Aピットをスタンド側、Bピットをトラック側とする。
- (7) アスリートビブスは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。腰ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。
- (8) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバーや携帯電話、もしくは、それらに類似の機器を競技区域内で所持または使用することは禁じられている。(競技規則 TR6.32)
- (9) スパイクのピンは、オールウェザー用とし、長さは9 mm以下とする。ただし、走高跳については、12 mm以下とする。(競技規則 TR5.4)
- (10) 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とするので、トラック競技は招集所で確認してもらうこと。(競技規則 TR5.13.3)

種 目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技 (ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内
跳躍・投擲競技	20mm (前部が踵より厚くなってはならない)

※ フィールド競技については計測しないが、国内でのみ通用する記録として取り扱う (日本陸連の通達により)

- (11) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする (競技規則 TR16.7)。スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長によって警告 (イエローカード) を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格 (レッドカード) とする。ただし、本競技会では累積しない。
- (12) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各競技者自身または代理人が担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出る。さらに、この裁定に不服の場合は、預託金 (1万円) を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

注：抗議があった場合、必ず、関係校の顧問に連絡を行う。

## 5. 棒高跳、走高跳のバーの上げ方について

棒高跳、走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

(天候など特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。)

優勝決定のためのバーの上げ下げは棒高跳 5 cm、走高跳 2 cmとする。

走高跳 (男子)	1m40-1m45-1m50-1m55-60-65-70-73	以後3cm
(女子)	1m25-1m30-1m35-1m40-45-48	以後3cm
棒高跳	2m00-2m20-2m40-2m60-2m80-3m00-3m10	以後10cm

## 6. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

## 7. 表彰について

上位3位までの競技者には賞状を授与する。順位決定後、エントランスホールまで取りに来ること。

## 8. その他

- (1) 競技場をよごさないようにすること。特に空き缶類，弁当がらの片づけは各団体で責任を持って行うこと。
- (2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
- (3) 本部前は通行禁止とする。
- (4) 応援について
  - ①スタンドでは他の競技者、観戦者との距離を十分に確保すること。
  - ②声を出しての応援、集団での応援は禁止する。
- (5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
- (6) 競技者の事故等に対しては、応急処置以外の一切の責任は負いません。
- (7) 競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影について、以下の点に留意すること。
  - ①保護者及び本人の了解がない撮影を禁止する。
  - ②次の場合の撮影を禁止する。
    - ・禁止された区域での撮影。
    - ・競技者がスターティングブロックの足合わせをしているとき。
    - ・試技を待っている間や、身体を動かしているとき。 など
- (8) 選手の携帯電話・スマートフォンの使用については、保護者などとの連絡以外では、使用しないこと。携帯電話・スマートフォンの動画や画像の撮影は禁止とする。
- (9) 本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病について、現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (10) 本大会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、「令和3年度岡山県中学校秋季陸上競技大会」開催にあたっての連絡事項を必ず確認すること。なお、競技会に関わるすべての人の観戦に対するいかなる責任を負わない。